

かわさき アートニュース



Vol. 273

2019年3月号



CONTENTS [目次]

02 | 特集 第116回 川崎市定期能

絶世の美女『楊貴妃』と春を喜ぶ『胡蝶』の舞

インタビュー: 能楽師 田邊 哲久さん(観世流シテ方)

04 | 音楽 ミューザ川崎シンフォニーホール

07 | 歴史・文化 東海道かわさき宿交流館

08 | イベントレビュー

10 | 美術 市内ギャラリー情報

13 | 演劇 アルテリオ小劇場

14 | 映画 アルテリオ映像館

能『楊貴妃』

観世恭秀

(撮影: 前島吉裕)

第116回 川崎市定期能 絶世の美女『楊貴妃』と春を喜ぶ『胡蝶』の舞

インタビュー／能楽師 田邊 哲久さん(観世流シテ方)

川崎能楽堂では、能と狂言を楽しめる『川崎市定期能』を年3回(3・9・12月)開催しています。2019年最初の3月公演は、“女性の美しさ”や“早春の訪れ”を感じられる演目で、初めての方にもおすすめ。ご出演いただく能楽師・田邊哲久さんに、解説から見どころまで、たっぷりお伺いしました。

川崎能楽堂はすごい!?

——田邊先生には開館当初から大変お世話になっています。

私の師匠である観世元昭が川崎能楽堂を作るのに尽力しまして。私も、昭和61年の舞台開きに出演して、そこからのご縁なんです。とにかく感心するんです川崎は。川崎市定期能は今回で116回目、これはすごいなと。他の自治体ではなかなかありません。だからこそ、頑張っ続けていただきたいですね。

——川崎能楽堂はいかがですか?

あまりにも客席と舞台の距離が近いので、直面、つまり面を付けないでやるのはちょっと勘弁というくらい(笑)。真ん中に座るとちょうど正面のお客さんと顔が合うんですよ。お辞儀されたこともあります。演者は気が抜けません。また、舞台の高さも他と比べて低く、足元が丸見えですので、運びも雑にできません。ですから、観る人にとってはとてもいいと思いますね、ここの舞台が好きなお客様は多いです。

観世の世界とは

——能について簡単に教えてください。

650年以上前の、室町時代から続く演劇ですよ。シェイクスピアよりも古いです。能を確立させたのは、観世流の祖、観阿弥・世阿弥親子です。観阿弥はもともと「猿楽」というお能以前の芸能の演者で、猿楽は“神に捧げる神事”として演じられていました。それから時代が移り変わり、息子の世阿弥が“見せる演劇”としてお能を完成させます。能の心得をまとめた本『風姿花伝』も



有名ですよ。明治維新の頃には途絶えかけるという危機もありましたが、大正・昭和と盛り返して今に至っています。

——能楽界や観世流について教えてください。

能楽協会員はおおよそ3,000名弱でしょうか。芸大を卒業し、修行を経てこの世界に入る人も増えていますね。「能楽」には狂言も含まれますので、狂言方(狂言を演じる人)も協会に入会します。協会に所属し、何十年もしてようやく文化財技能保持者として認められると、日本能楽会という団体に入ることができます。

観世流の宗家(家元)・観世清和は、現在26世(代目)です。600名弱いますので、一番多い流派です。観世流の中でも我々本家、分家(鏡仙会)、別家(九草会)、そして梅若家に分かれています。多少芸や謡が違う部分もありますが、基本は同じですね。

伝統を伝える

——田邊先生は神奈川県内でも精力的に活動されています。

私の家は横浜で、祖父の代から能楽師として続いています。小さい頃から囃子や謡の稽古を受け、高校卒業と同時に本格的にこの世界に入りました。昔は10年修行してやっと独立と言われていましたので、耐えられるかどうか、覚悟が要りましたね。今はシテ方(主役)として、年に4~5番(公演)ほど舞台に立っています。横浜で“港能”という会を主宰したり、横須賀で『海霊』という鎮魂のための新作能をやったりもしています。お能は昔から「亡くなった方に成仏していただく」お話が多いですからね。

——今後の目標は何ですか?

やはり若い方にやっていただきたいですね。私が今教えている素人のお弟子さんは、年上か同年代なので。最近は学校公演も呼ばれることが減っていて、それは先生が能を見たことがないからです。伝統は無くなるのは早いですから、伝え続けることが大切です。一回観ていただくと、何か心に残るじゃないで



『楊貴妃』観世恭秀(撮影:前島吉裕)

すか。川崎能楽堂は、観世流鏡仙会の鶴澤久さんが「夏休み能楽体験教室」をなさっていますし、川崎市定期能でお子さんを招待したときもありましたよね。若い方に届けられるよう、私も色々考えたいと思っています。

珍しい形式の能『楊貴妃』 絶世の美女の死後とは…

——今回の作品のあらすじや見どころを教えてください。

皆さん、『楊貴妃』の名前は聞いたことがあっても、死後のことはご存じないでしょうか? 第一部に上演するのは、楊貴妃があの世界で愛する人を想いながら寂しく舞うお能です。

処刑された楊貴妃をどうしても忘れられない唐の玄宗皇帝は、あの世界の住人と会話ができる方士に「楊貴妃に会いに行って、二人の愛の証を探してきて欲しい」と頼みます。方士が亡霊の住んでいる宮殿に行くと、楊貴妃が現れ「かんざしをあげるから皇帝に渡してください」と伝えます。ですが方士は「かんざしはどこにでもある。二人にしか分からない言葉を教えてください」と願うわけです。すると楊貴妃は皇帝と交わした和歌を謡い、舞う。女性の美しさが集約された、なんとも優雅で品のある舞です。方士はその和歌を持って帰り、楊貴妃は消えていきます。

プロフィール

田邊 哲久(たなべ てつひさ)

観世流シテ方／昭和30年生まれ／田邊竹生長男／観世元昭及び観世恭秀に師事／重要無形文化財総合指定保持者／社団法人 日本能楽会会員／社団法人 能楽協会会員



『胡蝶』田邊竹生(撮影:前島吉裕)

外国、特に中国を舞台にした能は他にもありますが、この演目は、普通のお能とは全く逆のパターンというのが珍しいですね。普通は「霊が方士のいる現世に来る」んですが、これは「方士が霊のいるあの世に行き」ます。

可愛らしい蝶が主人公『胡蝶』 春の訪れを感じて

第二部の『胡蝶』は、早春の季節にぴったりの演目なので選びました。こちらは典型的なお能の形式です。

梅が盛りの季節、お坊さんの元に女性が現れ「私は蝶の精で、春夏秋冬の花には留まったことがあるのに、早春の梅の花だけは留まったことがありません。夢に出ますからどうか成仏させてください」と頼んで消えます。すると後半、蝶が出てきて梅の周りで喜びを舞い、飛び去って行きます。太鼓も入り、軽やかで可愛らしい雰囲気です。あからさまに飛んだり羽ばたいたりはいませんが、梅の周りで嬉しそうに羽を仰ぐ様子など、想像を膨らませていただきたいですね。

——頭に蝶が乗っているんですね。(左写真)

これは、皮に絵を描いたものです。実は、こうした道具は能楽師が作っています。お能では、例えばただの竹でできた小屋(P2『楊貴妃』写真)を、豪華な宮殿という風に見ます。また、小さな木1本(左写真)でも、満開の梅の木を表します。まさに、観る人の想像力で広がる世界です。今回は、川崎のために一生懸命梅の木を作りますので、「梅に見えないじゃない」と言わないでくださいね(笑)。

——装束や面は、演目ごとに決まっていますか？

装束はだいたい決まっていますが、柄は選べます。面も選べて、例えば『楊貴妃』が付いているのは“増”という種類です。“増女”は神様な女性を表しており、面がほっそりしています。反対に、実在する女性の面“若女”なんかは、ふっくらして目も少し大きいです。今回の『胡蝶』では前半と後半で面が変わる予定ですので、そこも注目していただくと面白いかもしれません。ちなみに、面は顎を出して付けるため、目から足元は見えません。目からは目付け柱という舞台の隅の柱を見て距離感を測り、足元は鼻の穴からわずかに見えます。

孤独な世界の中で

——お能は「動く彫刻」とも評されます。どんなところが大変ですか？

体勢の維持や重い装束も大変ですが、面をつけるでしょう、これがものすごい圧迫になります。一人になり、孤独感が増すわけです。装束を着て、“鏡の間”という場所で静かに鏡の前に座り、最後に面をつける。すると完全に精神的にその人物に成りきる事ができます。「これを伝えたい」とかではなく、成りきって舞っていますので、本当に楊貴妃や蝶々に見えたら「よかったな」と。身体はおじさんですからね(笑)。それができちゃうんだからすごいですよ、お能は。大変なプレッ

シャーですので、毎日毎日というのは精神的にもできないですね。

「どう思いましたか？」

——初めて能を観るお客様へメッセージをお願いします。

能は昔の言葉なので、何を言っているかよく分からないですね。我々も「どうしたら伝わるかな」というのはいつも悩んでいます。まずは、チラシやパンフレットを読んでいただきたいと思います。川崎能楽堂のあらすじは短くまとめてありますし、今回の演目はファンタジー的で入りやすいと思います。ただ観ると小屋のようでも、流れを知っていれば“死の世界の宮殿”だと分かりますよね。さらに、純粋な気持ちで楽しんでいただくと、本当に豪華な大宮殿に見えるかもしれない。謡曲の徳に書いてあるように、「どこか旅をしてきたかのような気分になる」かもしれない。割と観る人にゆだねられている芸能ですので、肩ひじ張らずに来ていただき、「どう思いましたか」と我々も聞いてみたいです。

きっかけはなんだったいいんです。衣装が綺麗な、お面がいいな、あの作り物はなんだろうとか。ご自由な感性で、何かしら興味を持っていただきたいですね。そのために、ぜひ1度お越しいただきたいと思います。

公演概要 Information

第116回 川崎市定期能

[日時] 2019.3.16(土)

【第1部】12:30開場 13:00開演
狂言「柿山伏」山本泰太郎(大蔵流)
能「楊貴妃」観世恭秀(観世流)

【第2部】15:00開場 15:30開演
狂言「清水」山本則孝(大蔵流)
能「胡蝶」田邊哲久、
岡本房雄(観世流)

[会場] 川崎能楽堂

※アクセスは9ページに掲載。

[チケット] 全席指定

一般 各部4,000円 U25 各部3,000円

詳細は裏表紙をご覧ください

お能の豆知識

●流派

観世流、宝生流、金春流、喜多流、金剛流の5流がある。同じ演目でも、流派によって舞の型や謡、扱いなどが異なる。

●演目の種類

200以上の演目があり、主人公によって「五番立」という種類分けができる。

- 一番目物…神様の能。
- 二番目物…勇壮な武士・男の能。
- 三番目物…女性の能。
- 四番目物…執心の人物など他に当てはまらない能。
- 五番目物…鬼の能。

昔は5つ全てを1日通して上演していたそう。間には狂言を必ず挟んでいたため、今もセットで上演されることが多い。

●形式

典型的な形式は、世阿弥が定着させた「複式夢幻能」。複式=前半と後半があること、夢幻=夢や幻を見せてくれること。

例)

[前 半]ワキ(法師や都の人)が旅をしていると、シテ

(化身)が出てきてその土地や身の上の話をする。→「実は私は～の化身です」と名乗り去って行く。

[中入り]シテが替替えている間に、アイ狂言(狂言方によるシテの解説)がある。

[後 半]ワキが祈ったりまどろんだりしていると、シテが真の姿になって現れて舞う。→成仏して去って行く。

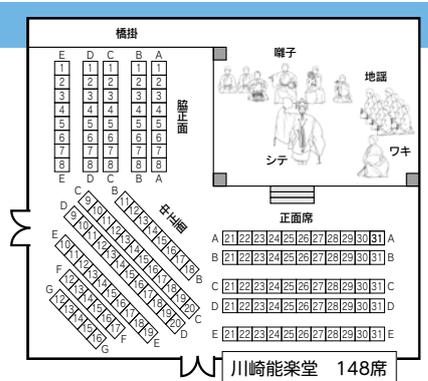
●舞の型

能には、型という意味を持った動作がいくつもある。例)「テラス」の型…面をやや上に向け、喜びを表す。反対は「クモラス」。

「シオリ」の型…面をやや伏せ、両手で眼の付近を覆う。嘆きの涙を表す。

●地謡

地謡は、あらすじや情景を謡っている。地謡の中には地頭が一人おり、指揮者のような役割を担う。例えば「あいうえお」と謡うには、まず地頭が「あ」と謡い、他の地謡が「いう～」から音程を合わせて入る。



●囃子

四拍子と呼ばれる大鼓、小鼓、笛、太鼓の4つの楽器で演奏する。リズムや出だしは大鼓が主導し、8拍子が基本。メインの舞になると笛が活躍する。登場人物が出てくるときの大鼓の掛け声によって、その人物の位が決まる。例えば女性だと静かに、鬼だと荒々しく始まる。

ミューザ川崎シンフォニーホール おすすめ公演情報

MUZA音楽サロン ~五感を研ぎ澄ます~

音楽と異分野の様々な組み合わせで贈る、あらたな音楽との出会い。
 午後のひと時、その道を極めたゲストのお話と、限定100席という親密な空間での音楽体験。
 お茶、お菓子のおもてなしも、もれなくついでまいります。



【会場】 市民交流室(ミューザ川崎シンフォニーホール4F音楽工房)
【チケット】 各回とも全席自由・一般3,000円(お茶・お菓子付き)100席限定

第2回 3月13日(水) 13:30開場 14:00開演
「音を見る?共感覚をカイハツする」

【出演】 プレゼンター: 栗原寿行
 (東京藝術大学 COI研究推進機構
 Arts & science LAB. 特任助手)
 ヴァイオリン: 竹田詩織(東京交響楽団)
 ピアノ: 内門卓也

【曲目】 ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタ ト短調 他



栗原寿行 竹田詩織 内門卓也

第3回 4月16日(火) 13:30開場 14:00開演
「音と静寂、サイレンスという名の音」

【出演】 プレゼンター: オヤマダアツシ
 トークゲスト: 三浦性暁
 (浄土真宗本願寺派 信行寺 僧侶)
 ヴィオラ: 多井千洋(東京交響楽団)
 ピアノ: 内門卓也

【曲目】 J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲より
 ブリッジ: 小川の枝垂れ柳 他



オヤマダアツシ 三浦性暁 多井千洋 内門卓也

第8回 音楽大学フェスティバル・オーケストラ

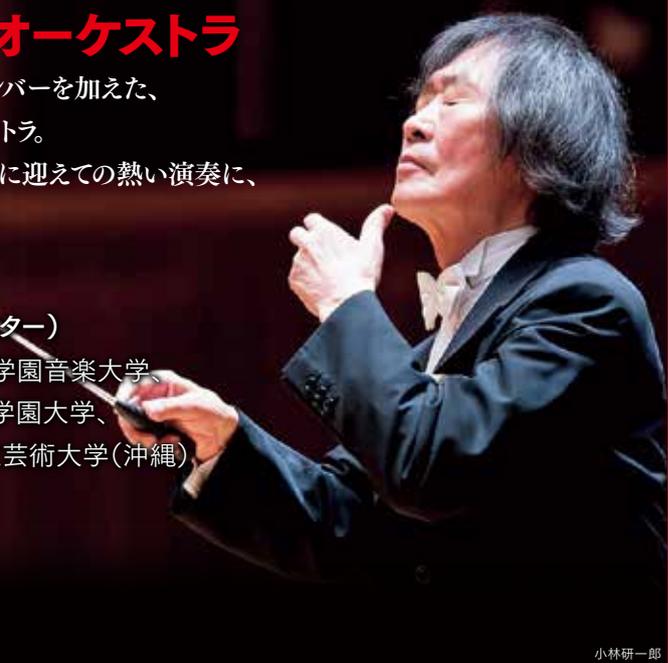
首都圏9音大に加え、今年は北海道と沖縄の2つの音大のメンバーを加えた、
 各音楽大学選抜メンバーで構成されたフェスティバル・オーケストラ。
 日本が世界に誇る巨匠“炎のコバケン”こと小林研一郎を指揮に迎えての熱い演奏に、
 どうぞご期待ください。

【日時】 3月31日(日) 15:00開演
【会場】 カルッツかわさき(川崎市スポーツ・文化総合センター)

【出演】 上野学園大学、国立音楽大学、昭和音楽大学、洗足学園音楽大学、
 東京音楽大学、東京藝術大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学、
 武蔵野音楽大学、札幌大谷大学(北海道)、沖縄県立芸術大学(沖縄)

【曲目】 ベルリオーズ: 序曲「ローマの謝肉祭」
 チャイコフスキー: 序曲「1812年」
 ベルリオーズ: 幻想交響曲 作品14

【チケット】 S席2,000円 A席1,500円



小林研一郎

ありがとう、佐山雅弘さん

11月14日昼、ジャズピアニスト佐山雅弘さんは64年の生涯を閉じました。ミュウザ川崎シンフォニーホールの開館当初より、ホールアドバイザーとして人気企画「ジャズ・ピアノ6連弾」「オーケストラで楽しむ映画音楽」「サマーナイト・ジャズ」など、ジャズを軸にした人気企画を多数プロデュースしていただきました。

ご逝去の2日後にはかわさきジャズ2018「佐山雅弘スペシャル・ピアノ・プロジェクト ジャズ・トライアングル The 3 Pianists」を控えておりましたが、本人のご遺志により公演は予定通り開催され、ご息子の佐山こうたさん、および故人と親交の深かったジャズピアニストの国府弘子さんが代演をつとめました。

佐山雅弘さんがはじめてミュウザ川崎シンフォニーホールに出演したのは、2005年「ホールアドバイザー佐山雅弘企画 ジャズ・ピアノ6連弾」でのことでした。開館10周年記念誌では「音楽は人生。愛や善意、他人への尊重や思いやりの心が積み重なっていく素晴らしさ。ミュウザはそんな出来事を提供する場所であり続けて」とメッセージを寄せてくださいました。

佐山さんのご遺志は、ミュウザ川崎シンフォニーホールの中にこれからも生き続けます。今まで本当にありがとうございました。



佐山雅弘さんが生前最後に残したメッセージ〈全文〉

みなさま。佐山雅弘より

このお手紙がお手元に届く時、僕はこの世におりませんが、長きに亘ってのお付き合いにお礼を言いたくて家人に託しました。

加山雄三とタイガースが大好きな中学生。高度成長期大阪の衛星都市尼崎に親父が構えた小～さな小売商を継ぐことに何の疑念も持たないごく普通(以下)の子供がジャズとの出会いで、楽しさこの上ない人生を送ってしまいました。

まことに人生は出会いであります。「君の身体は君の食べたモノで出来ている」と言いますが、まったく同様に僕という者は僕が出会った人々で出来ているのだとしみじみ実感したことです。

その出会いを皆様にあらためて感謝しつつ、今後益々の良き日々を祈りながらお別れをします。

ありがとう、さようなら

2018年11月14日 佐山雅弘



①②「オーケストラで楽しむ映画音楽」より:2012年7月公演にて、オーケストラと共に / 2009年11月公演にて、「寅さん」に扮装(会場:川崎市教育文化会館) ③2012年1月 MUZA JAZZ NIGHT! にて 佐山雅弘・国府弘子・小原孝の3人で(会場:クラブチッタ) ④2018年1月 スペシャルナイト 90「ロマンティック・ナイト」 ⑤2005年1月「ジャズピアノ6連弾」出演者とともに ⑥⑦「JAZZ BAR SAYAMA」より:特製コースター。観客からのリクエストはこのコースターで受け付けた / ホール2階のドリンクコーナーにおいて、演奏の合間に ⑧2017年7月「ルドルフ・ルッツ&佐山雅弘」にて、オルガンを弾く姿を見守るルッツ ⑨2018年7月 サマーナイト・ジャズにて、中川英二郎とともに。ミュウザでの最後の出演となった (敬称略)

MUZA ランチタイムコンサート

時間 **12:10開演** (11:30開場 12:50終演予定・途中休憩なし)

料金 **全席自由 ¥500**

チケット発売日 **3月17日(日)**

同日の夜にも公演があります。詳しくはホームページをご覧ください。

9回セット券 ¥3,600

※セット券のお取り扱いはミュージアの電話・窓口のみ

2019年
7月3日(水) JFE Presents
P138-866

～リニューアルオープン記念～
祝祭のハーモニー

オルガン:松居直美◇、大木麻理◇



ブクステフーデ:テ・デウム BuxWV218 ◇
トウルヌミール(デュリュフレ編):「テ・デウム」による即興演奏◇
ワーグナー(メルカールト編):
ニルンベルクのマイスタージンガーから 前奏曲◇ ほか

2019年
8月20日(火) JXTGエネルギーPresents
P138-867

夏休みスペシャル 4歳からOK!

東京交響楽団 金管五重奏

トランペット:佐藤友紀・松山 萌、ホルン:上間善之、
トロンボーン:鳥塚心輔、テューバ:渡辺 功



J.S.バッハ:バルティータ 第2番 BWV826から シンフォニア
プラスで乾杯! ほか

2019年
9月10日(火) P138-868

**カウンターテナー藤木大地
いにしへの音 あたらしき声 いたうれし**

カウンターテナー:藤木大地
ルネサンスハープ:西山まりえ



アイルランド民謡:ダニー・ボーイ
小林秀雄:落葉松 ほか

2019年
10月8日(火) JXTGエネルギーPresents
P138-870

レトロおしゃれにホールジャズ!

GENTLE FOREST 5 & Gentle Forest Sisters



スウィングジャズのスタンダードナンバー、
オリジナルナンバー

2019年
11月5日(火) JFE Presents
P138-872

オルガン&トランペット

オルガン:都築 由理江
トランペット:服部孝也



シャルバンティエ:「テ・デウム」から 前奏曲
ヴォーデル:オルガン交響曲第5番 Op.42-1から第1楽章 ほか

2019年
12月10日(火) 川崎信用金庫Presents
P138-873

**時空を超える旅芸人
《タブラトゥーラ》がやってくる!**

古楽器バンド:タブラトゥーラ



新しい自転車 夜の蟹(オリジナル曲)
レセルカーダ(16世紀スペインルネサンス舞曲) ほか

2020年
1月14日(火) P138-874

**東京交響楽団 弦楽四重奏
Tribute to 佐山雅弘**

ヴァイオリン:水谷 晃、福留史祐
ヴィオラ:青木篤子 チェロ:伊藤文嗣



佐山雅弘:弦楽四重奏曲 Op.1
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第16番 Op.135

2020年
2月20日(木) 川崎信用金庫Presents
P138-875

**心が跳ねる!
アイリッシュサウンド**

O' Jizo



アイルランド民謡:ダニー・ボーイ
映画「タイタニック」から ほか

2020年
3月31日(火) NTTアドバンステクノロジー株式会社
Presents
P138-876

春休みスペシャル 4歳からOK!

**ヴァイオリンとハープが織りなす
51絃の調べ**

ヴァイオリン:奥村 愛 ハープ:山宮るり子



ジョブリン:エンターテイナー 加藤昌則:ケルト・スピリッツ
ピアノ:タンゴの歴史から ほか

お昼休みのひと時、音楽で生活に潤いをプラス! 毎日頑張る自分へのご褒美に、気になるあの人を誘うきっかけとして、
いつもとは一味ちがうお出かけで、月1回のランチタイムコンサートをお楽しみください♪

音楽のまちかわさき

会場・主催 **ミュージア川崎シンフォニーホール** (川崎市文化財団グループ)

車椅子席・要予約



事前にお問い合わせください。
完売の場合、当日券の販売はございません。



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



休館日：毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌日が休館。

企画展

川崎市南部の「地名とくらし」展

今の町名や停留所名、通りの名前。歴史とのつながりを考えていきます。

日時：2月26日(火)～3月31日(日)9時～17時

料金：無料 会場：東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室



フリートークショー「地名は面白い」

会場参加者と地名談議に花を咲かせましょう。みなさんの参加をお待ちします。

日時：3月2日(土)14～16時 予定 会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室

料金：参加自由(無料) パネラー：菊地恒雄(川崎地名研究所 会長)…他4名

第20回 街道講演会

「東海道品川宿を往く

—江戸の花見は御殿山、ならぶ旅籠はオーシャンビュー!—

江戸の入口品川は風光明媚な海辺の宿。春には潮干狩り、桜の御殿山、秋は風流な紅葉狩り、四季折々の行楽地。海の幸に恵まれた品川宿をご案内します。(柘植信行)

日時：3月16日(土)14時開演(13時30分開場)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室 料金：無料

定員：先着100名(自由席・事前予約不要)

講師：柘植信行(品川歴史館専門委員)

[プロフィール] 中・近世都市史・温泉史研究

主な著書/『温泉の原風景』・『湯治の文化誌』・『温泉の文化誌』(岩田書院 共著)

『都市鎌倉と坂東の海に暮らす』(新人物往来社 共著)

『東京湾と品川—よみがえる中世の港町—』(品川区立品川歴史館 共著)



柘植信行

第12回 お昼の落語

日頃から師匠のお世話・嘶の修業・高座の裏方として頑張っている前座さん、真打昇進を目指す二ツ目さん。若手を激励し、精進を応援する落語会になってゆけば幸いです。

日時：3月20日(水)14時開演(13時30分開場)

会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室 料金：無料

定員：先着100名(自由席・事前予約不要)

出演：前座 入船亭 扇ぼう、二ツ目 三遊亭 歌扇



三遊亭 歌扇

展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。

展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示
があります。

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4

TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

http://www.kawasakishuku.jp/

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、

JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分



第115回 川崎市定期能



能「松風」浅見真州 撮影：山口宏子 能「藤戸」橋澤久 撮影：山口宏子

今回は、観世流鏡仙会と和泉流狂言の能楽師をお迎えして開催しました。

第1部は、名刀・長光(ながみつ)を巡る所有者と盗人の言い争いが滑稽な狂言『長光』と、亡き在原業平を慕う姉妹の行き場のない想いを描いた能『松風』を上演。また、第2部は能『玉之段』のハイライトを面・装束・囃子なしで演じる仕舞と、能『藤戸』を上演しました。

能『藤戸』では、事前講座で解説もいただいた鶴澤久さんが、息子を失った母の情念を鋭い感性で表現。重みのある圧巻の演技に感嘆の声が多数寄せられました。

川崎市定期能は、3・9・12月の年3回開催しています、2019年もどうぞお楽しみに。

【お客さまの声より】

- 狂言も能もとても見応えがあり感動しました。(70代/男性)
- 藤戸の漁師の母・漁師の迫力が素晴らしく、心情・様子がとてもわかりやすかったです。(20代/女性)

(12月16日 川崎能楽堂)

MUZAパイプオルガン クリスマス・コンサート2018 ～言葉と音楽で彩るファンタジー～



毎年パイプオルガンの音色で迎えるミュザのクリスマス。今年はアメリカではポピュラーなクリスマス劇「もう一人の博士」を題材に、有名な東方三賢者のアナザーストーリーを、川崎出身の大岡淳氏(SPAC-静岡県舞台芸術センター)の構成・演出で描くコンサートとなりました。

2名の演者による朗読によって導かれる物語は、舞台装置こそないものの紀元前のキリスト誕生のところにタイムスリップしたような臨場感。主人公の名前を冠した松岡あさひの委嘱新作「アルタバン Ⅰ～Ⅳ」の他、バッハやブクステフーデ、プリテンなどの作品を、ホールアドバイザー松居直美のオルガンやソプラノの鈴木美紀子が美しく彩り、いつもとは一味もふた味も違う、クリスマスのひと時となりました。

(12月22日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

MUZAジルバスターコンサート2018 絢爛豪華な大晦日



大みそかの恒例となった「ジルバスターコンサート」は、1年の最後に華やかなコンサートを家族そろって楽しめるというチケットは完売。秋山和慶指揮、東京交響楽団は第1部で新年を先取りするような喜歌劇「こうもり」序曲などクラシック曲をしっかりと聴かせ、第2部ではミュージカルスター(福井晶一、吉沢梨絵、笠松はる、上原理生)たちが「オペラ座の怪人」「レ・ミゼラブル」などミュージカルファン垂涎のナンバーを期待に込めて大熱唱! 4階席まで埋め尽くす満場のお客さまも盛大に拍手を送り、豪華な締めくくりとなりました。

(12月31日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

第79回ラゾーナ新春寄席



新春寄席は、100名を超えるお客様に初笑いをお届けしました。前座・瀧川あまぐ鯉(り)さんの『新聞記事』に始まり、初音家左橋師匠による『明烏(あげがらす)』。堅物の息子が知らず知らずのうちに吉原に連れて行かれるという内容で、先が気になる世界観にすっかり引き込まれてしまいました。

お楽しみの色物は、一家で“動物ものまね”を継承している江戸家まねき猫さん。『枕草子』の有名な和歌に、まねき猫さんが季節の動物や自然の音を添えるという珍しい高座では、お客さんも夏の雨音に参加したり、秋の虫の音に耳を澄ましたりと、笑いとお情の両方を楽しむことができました。

トリは、落語家30周年を迎えた桂米多朗師匠による『徂徠(そらい)豆腐』。貧しい学者に豆腐屋が情けを掛けたところ、巡り巡って恩が返ってきたという人情噺で、今年1年の過ごし方を考えさせられるような素晴らしい一席でした。

ラゾーナ寄席は毎月第3火曜日18時半開催。大満足の2時間です。

(1月15日 ラゾーナ川崎プラザソル)

芸能サロン 狂言を楽しもう

和泉流の狂言師をお迎えし、毎年好評のお話付き狂言公演を開催しました。

まず、野村万蔵さんが「狂言は昔のコント



と提供いただいても結構」と呼びかけ、演目について分かりやすく解説。1つ目の演目『雷』は、落ちてきた雷様をやぶ医者が治療し、治療費を請求するというお話。「笑いの中にも“自然と人間”の関係性が見えてくる」と見どころを聞いていたおかげで、余韻まで楽しむことができました。2つ目の『人間川』は、とある大名が川を渡るため地元の男に浅瀬を尋ねたものの、その土地に流行る“人間様(逆言葉)”ではないかと疑い始めて…というお話。逆言葉の巧みなやり取りも、解説のおかげで理解でき、思い切り笑うことができました。

【お客さまの声より】

- 初めて狂言を観ました。面白いものだとこのことを知りました。最初に解説があったのでよく分かりました。(40代/女性)
- 新年の舞もあり、今年も良いスタートを切りました。とてもリフレッシュできた舞台でした。(70代/男性)

(1月19日 川崎能楽堂)

こども狂言教室



狂言に親しみ、1演目発表するまでを目指す「こども狂言教室」は、今年で10回目を迎えます。狂言師の山本則俊さん、則重さん、則秀さんご指導のもと、市内の小学生18名が3月の発表会に向けて、計13回の稽古に励んでいます。

4回目の稽古では、小舞「盃」を何度も繰り返し練習したり、台本の読み合わせをしたりしました。子どもたちは真剣な表情で先生を見つめ、声や姿勢を真似ていました。ときには厳しく、ときには笑いながらの雰囲気、学校や学年を超えて親睦を深めることができるのも魅力になっています。

教室について、則俊さんは「狂言は650年も続いている芸能。いじめ、泥棒、詐欺など生活の中で起こりうる事柄を、問題になる一歩手前で笑いに変える奥深さがある。古くからと食わず嫌いせず、子どもの頃に体験して少しでも興味を持ってほしい」と想いを語ります。また、参加した小学5年生の女の子は「狂言はどんなものなのかなと思って参加した。普通の生活にはない動きがたくさんあっておもしろい。例えばすり足は魔物を踏み潰すという意味がある」と楽しそうに話していました。

(1月26日 新百合トウェンティワンホール)



アートガーデンかわさき

貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

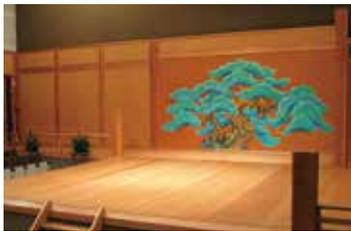
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅北口東直結、京急川崎駅より徒歩2分



ミュージザ川崎シンフォニーホール

貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

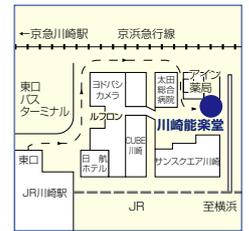
〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅中央西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂

貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅中央東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅中央東口もしくは北口東より徒歩10分



ラゾーナ川崎プラザソル

貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151 <http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅中央西口より徒歩5分



川崎市アートセンター

貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □ = 休館日

2019.3

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
		Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室																																
	第2展示室																																
	第3展示室																																
川崎市教育文化会館市民ギャラリー(川崎区) 川崎区富士見2-1-3 TEL. 233-6361 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
幸市民館市民ギャラリー(幸区) 幸区戸手本町1-11-2(幸文化センター内) TEL. 541-3910 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
ギャラリー柯(えだ)(中原区) 中原区木月3-35-1 元住吉アートフラッツ1F TEL. 422-0515 【休館日】第2・第4月曜日																																	
川崎市市民ミュージアム(中原区) 中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌火曜休)、3月22日(金)																																	
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)、3月22日(金)	企画展																																
	常設展																																
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																																	

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

企画展／3月2日(土)～3月16日(土)

第52回 かわさき市美術展

市民の文化芸術の振興を目的として昭和42年に始まった、川崎市でもっとも歴史のある公募展です。入賞・入選作品を展示し、最終日3月16日(土)には13:00より講評・表彰式を行います。

観覧料:無料 ●会場:2F企画展示室2

企画展／3月2日(土)～4月14日(日)

竹宮恵子 カレイドスコープ 50th Anniversary

雑誌「COM」での『このつゆの友情』掲載から50年を記念して、代表作『風と木の詩』、『地球へ…』を含む原画やクロッキーノートなど貴重な作品約150点を展示し、漫画家・竹宮恵子の足跡をたどります。



竹宮恵子 『地球へ…』より「星のうまれるところ」

観覧料:無料 ●会場:2F企画展示室1

●観覧料:一般800円(640円)、65歳以上・大学生・高校生600円(480円)、中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金です。※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

〈関連イベント〉

◆竹宮恵子 講演会「マンガと向き合う50年」※HPより要事前申込(抽選制)

●司会:吉村麗(マンガ研究家) ●日時:3月9日(土) 14:00～
●会場:1F映像ホール ●定員:270名

◆竹宮恵子 サイン会

当日、ミュージアムショップにて展覧会図録を購入された先着100名の方に、整理券を配布します。

●日時:3月9日(土) 15:30～ ※図録販売は9:30～ ●会場:1F映像ホール

◆劇場版アニメーション『地球へ…』上映会

●日時:3月10日(日)11:00～/14:00～ ●会場:1F映像ホール ●定員:270名
●料金:一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/小中学生400円
※チケットは、1F総合案内にて10:00より当日先着順で販売。

企画展／1月26日(土)～4月14日(日)

開館30周年「都市と人間」コレクション展 都市×モニュメント×カタストロフィ

「都市」とは、そこに生きる人々の、災害や破壊などの大きな変化によって創り出された記憶が、モニュメント化して記録され、共有されている場所です。本展では、川崎・パリ・東京の3つの都市の姿を多様な収蔵品から紹介します。



〈猛火に包圍せられた浅草観音堂の風景〉 大正12年10月15日、石橋・坂 川崎市市民ミュージアム蔵

観覧料:無料 ●会場:2Fアートギャラリー1・2・3

映画上映／1F映像ホール

こども映画館

「フィルムで見るアニメーション！」 ～Fシネマプロジェクト～

こどもからおとなまで、目と耳でリズムを体験できるアニメーション作品を上映します。アニメーションの豊かな質感をフィルム上映で感じていただけます。



『セロ弾きのゴーシュ』

上映日・料金等

●上映日:3月29日(金)、30日(土)、31日(日)
●料金:1プログラムにつき一般600円/65歳以上・大学生・高校生500円/中学生以下無料 ※未就学児、障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料

●上映作品／●「セロ弾きのゴーシュ」

●〈NFAJ短編集2:歌とリズム〉

「児童唱歌映画 村祭[デジタル復元版]」、「茶目子の一 [パテーターキー版][デジタル復元版]」、「RHYTHM」、「くもとちゅうりっぷ[デジタル復元版]」、「ホーム・マイホーム」

※上映スケジュール、詳細はHPまたはお電話でお問い合わせください。

※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.kawasaki-museum.jp/event/>

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL.754-4500 FAX.754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口1番乗り場からバスで約10分
【開館時間】9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)
【休館日】月曜日(ただし、祝日の場合は開館し、翌火曜休)、3月22日(金)
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

●ホームページ、Twitter、Facebook、Instagramにて情報発信中!



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

有料

企画展／2月15日(金)～4月14日(日)

「第22回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で22回目をむかえる本賞では、416点の応募があり、創造性あふれる25名(組)の作家が入選をはたしました。21世紀における芸術の新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧ください。



観覧料:無料

●料金:一般700円(560円)、高・大学生・65歳以上500円(400円)、中学生以下は無料 ※()は20名以上の団体料金 ※常設展もあわせてご覧いただけます。休館日:月曜日(祝日は除く)、3月22日(金)

〈関連イベント〉

◆第22回TARO賞ギャラリートーク

入選作家によるギャラリートークです。

●日時:3月10日(日)、3月24日(日)14:00～
●料金:観覧料のみ

◆お気に入りを選ぶ! 投票期間

展示されている入選作品の中から、ご来館の皆様にお気に入りの作品を投票していただくイベントです。投票の結果は、HP等で発表するとともに、上位の作家には記念品を進呈します。

●投票期間:2月15日(金)～3月31日(日) ●場所:ギャラリースペース
●結果発表:4月2日(火)



常設展／1月18日(金)～4月26日(金)

2025年大阪万博開催決定記念 「ファンタジック TARO」

岡本太郎は絵画や彫刻などを制作すると同時に、数多くのインテリアのデザインも手がけています。《坐ることを拒否する椅子》や《顔のグラス》など、様々な“遊び”心にあふれた生活用品が販売されたことで、だれもが自宅で岡本の作品を楽しめるようになりました。本展では、岡本がデザインした工業製品を作品・原画・資料を通して紹介します。



《まどろみ》1967年

観覧料:無料

●料金:2月15日(金)～4月14日(日) 一般700円(560円)、高校・大学生・65歳以上500円(400円)、中学生以下は無料 4月16日(火)～4月26日(金) 一般500円(400円)、高校・大学生・65歳以上300円(240円)、中学生以下は無料 ※()は20名以上の団体料金 ※常設展のみの開催です。休館日:月曜日(祝日は除く)、3月22日(金)

〈その他のイベント〉

◆ナイトミュージアム

閉館後の夜の美術館を学芸員がご案内する、大人限定「ナイトミュージアム」。普段は入ることのできない、バックヤードにもご案内します。観覧後は、併設のカフェにてワンドリンク(アルコールを含む)もお楽しみいただけます。静かでゆっくりとした美術館の夜を楽しみましょう。

●日時:3月9日(土) 17:15～20:00 ●対象:20歳以上
●定員:20名 ●料金:2,000円(ワンドリンク、ショップ500円券を含む)
●申込:電話受付(2月22日(金)10:00から受付開始・先着順)



※その他、イベントの詳細は当館ホームページをご覧ください。

<http://www.taromuseum.jp>

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分 専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日、3月22日(金)
<http://www.taromuseum.jp>

●ホームページ、Facebookにて情報発信中



川崎市アートセンター kawasaki ART center

アルテリオ小劇場

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200 <http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
お問合せ●川崎市アートセンター 044-955-0107

しんゆりジャズスクエアvol.38

Jazz français à SHINYURI

パリの街角に流れるフレンチジャズをしんゆりで!

アコーディオンの音色でシャンソンやフランス映画の名曲を奏でます。

●演奏予定曲:「C'est si bon」「オー・シャンゼリゼ」
「Chanson des jumelles」「街角」ほか

2019年3月22日(金) 19:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】大塚雄一(Ac)、木村美保(vo)、石内幹子(vl)、
小美濃悠太(b)【チケット】一般2,500円、2枚セット券4,500円、4枚セット券8,500円
(全席自由・税込)

大塚雄一(Ac)



木村美保(vo)



石内幹子(vl)



田辺充邦(g)



小美濃悠太(b)

第70回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

吉原朝馬が「佐野山」を披露!

「佐野山」は、人格者でもあった4代目横綱・谷風梶之助をモデルとした人情噺。親孝行な十両・佐野山を手助けするための横綱の粋なはからいととは…?別名「谷風の人情相撲」とも呼ばれる古典落語を、吉原朝馬が高座にかける。

2019年3月23日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】吉原朝馬、初音家左橋、三遊亭めぐろ、柳亭市朗

【チケット】一般2,000円、学生1,000円、小学生500円(全席自由・税込)
※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

吉原朝馬



初音家左橋

★大旦那衆セット、プレミアムセット★

年間10回開催する「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券。一人でも、何人一緒でもご利用可。

●プレミアムセット:4枚1組 6,000円 ●大旦那衆セット:10枚1組 12,000円 ※有効期限は2019年3月公演まで。払い戻し不可。

【お知らせ】仲入り後には演者からのプレゼントが当たる抽選会を開催。

速報!

川崎・しんゆり芸術祭2019

お問合せ:川崎・しんゆり芸術祭2019実行委員会事務局
TEL.044-952-5024

坂本長利 独演劇「土佐源氏」

上演1200回を超える独演劇の金字塔!
盲目の元馬喰(牛馬売買人)の一代記。89歳にして凄まじい迫力で展開される独演劇は必見!

●4/28(日)~29(月・祝)

山の音楽舎

「うたのたね~おながくのはじまり~」

ちょっと不思議な まったりワールド
ゆっつりのんびり楽しめる赤ちゃんのためのお芝居、ベイビーシアター。わらべうたなど音の“原風景”に触れる。

●5/3(金・祝)~4(土・祝)

劇団なんじゃもんじゃ

「ベッカコンおに」

鬼って一体どこにいる
人の中に鬼はいる 人も鬼になれる
思いやりをテーマに、鬼と目が見えない村の娘・ゆきの素朴で心にしみいる創作民話の舞台化。

●5/6(月・振休)

チケット取扱い

川崎市アートセンター [TEL] 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)
[WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/> [窓口] 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く)
※「しんゆりジャズスクエア」:電話予約は<エアブレイン 044-954-9990(月~金、10:00~18:00)>で取扱い。
セット券は電話予約と窓口でのみ取扱い。
※「しんゆり寄席」:学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。セット券は窓口と電話予約のみ取扱い。

天才作家の妻 -40年目の真実-

3.2(土)~3.15(金)

2017年|スウェーデン、アメリカ、イギリス|カラー|シネスコ|1h41|DCP

監督:ビョルン・ルンゲ

出演:グレン・クロウズ、ジョナサン・プライス、クリスチャン・スレーター

現代文学の巨匠ジョゼフと妻ジョーンは40年間連れ添ったおしどり夫婦。そんな2人に、ノーベル文学賞受賞の吉報が届く。喜びあいながら、ストックホルムへ向かう2人。しかし彼らには、40年間隠し続けた”秘密”があった。2人の過去を追う記者から秘密について問い詰められ、動揺するジョーンは、次第に夫への愛と憎しみに包まれていく…。



©META FILM LONDON LIMITED- 2017

ヴィクトリア女王 最期の秘密

3.2(土)~3.22(金)

2017年|イギリス、アメリカ|カラー|シネスコ|1h52|DCP

監督:ステイヴン・フリアーズ

出演:ジュディ・デンチ、アリ・ファザル、エディ・イザード、アディール・アクタル

1887年、ヴィクトリア女王即位50周年記念式典に、記念金貨贈呈役として英領インドからイギリスへとやってきた青年アブドゥル。最愛の夫と従僕を亡くし、長年心を閉ざしてきたヴィクトリアは王室のしきたりにとらわれないアブドゥルに心を開いていく。強い絆で結ばれていく2人の関係は、やがて英国王室を揺るがす騒動へと発展していく。



©2017 FOCUS FEATURES LLC.

未来を乗り換えた男

3.2(土)~3.15(金)

2018年|ドイツ、フランス|カラー|シネスコ|1h42|DCP

監督・脚本:クリスティアン・ベツォルト

出演:フランツ・ロゴフスキ、パウラ・ベア

ドイツの作家アンナ・ゼーガースが1942年に亡命先のマルセイユで執筆した小説「トランジット」を、現代に置き換えて映画化。祖国ドイツで吹き荒れるファシズムを逃れ、南部の港町マルセイユにたどり着いたゲオルクは、偶然の成り行きでパリのホテルで自殺した亡命作家ヴァイデルに成りすますが…。祖国を追われた人々が希望のありかを見つけようとする姿を描く野心作。



©Schramm Film

バーニング 劇場版

3.9(土)~3.22(金)

2018年|韓国|カラー|シネスコ|2h28|DCP|PG12

監督:イ・チャンドン

出演:ユ・アイン、ステイブ・ユアン、ジョン・ジョン

村上春樹が1983年に発表した短編小説「納屋を焼く」を、巨匠イ・チャンドンが大胆に脚色し映画化。アルバイトで生計をたてている小説家志望のジョンスは、幼馴染のヘミと再会し、アフリカ旅行中に猫の世話を頼まれる。やがて旅行から戻ってきた彼女から、謎の男ベンを紹介されるが…。韓国の現代社会で浮遊する若者たちの姿と心理的な駆け引きをミステリータッチで描き出す。



©2018 PinehouseFilm Co., Ltd. All Rights Reserved

ジュリアン

3.9(土)~3.22(金)

2017年|フランス|カラー|ビスタ|1h33|DCP

監督・脚本:グザヴィエ・ルグラン

出演:レア・ドリュッケール、ドゥニ・メノーシェ、トーマス・ジオリア、マティル・オネヴ

両親が離婚したため、母と姉と暮らすことになった11歳のジュリアン。離婚調停の取り決めで親権は共同となり、隔週ごとに別れた父と過ごさねばならない。母は父に会おうとせず、電話番号さえも教えない。ジュリアンは連絡先を突き止めようとする父に嘘をつき続けるが、父の不満は徐々に溜まっていき…。張り詰めた緊張感の中で描かれる傑作ドラマ。



©2016 - KG Productions - France 3 Cinéma

禁じられた遊び デジタル・リマスター版

3.16(土)~3.22(金)

1952年|フランス|白黒|スタンダード|1h26|DCP

監督:ルネ・クレマン

出演:ブリジット・フォッセー、ジョルジュ・ブージュリー、リュシアン・ユベール、シュザンヌ・クールタル

第二次世界大戦中のフランス。ドイツ軍によるパリ侵攻からの避難途中、爆撃により両親と愛犬を亡くした5歳の少女ポーレットは、さまよいうちに11歳の農民少年ミシェルと出会う。ふたりはお墓を作って十字架を添える遊びに夢中になり、やがて教会や霊柩車からも十字架を持ち出してしまふ。哀愁に満ちた音楽とともに世界映画史に残る不朽の名作。



©1952 STUDIOCANAL

ちいさな独裁者

3.16(土)~3.29(金)

2017年|ドイツ、フランス、ポーランド|カラー|シネスコ|1h59|DCP

監督・脚本:ロベルト・シュヴェンケ

出演:マックス・フォーバツヒャー、ミラン・ベシエル、フレデリック・ラウ、アレクサンダー・フェーリング

第二次世界大戦末期の1945年4月、敗色濃厚なドイツでは兵士の軍規違反が相次いでいた。命からがら部隊を脱走した名もなき一兵卒のヘロルトは、偶然にもナチス将校の軍服を手に入れる。瞬間間にヒトラーをも想起させる怪物的な“独裁者”に変貌を遂げ、道中出会った兵士たちを次々と服従させていくが…。ドイツ敗戦直前の混乱期に起こった信じがたい実話の映画化。



©2017 - Filmgalerie 451, Alfama Films, Opus Film

マイ・ジェネレーション ロンドンをぶっとばせ!

3.23(土)~3.29(金)

2018年|イギリス|カラー(一部白黒)|ビスタ|1h25|DCP|PG12

監督:デイヴィッド・パティ ナビゲーター、プロデューサー:マイケル・ケイン

出演:マイケル・ケイン、デイヴィッド・ベイリー、ポール・マッカートニー、ツイギー、ローリング・ストーンズ、ザ・フー

ミニスカート、ボブ・ヘアー、そしてロックンロール——。初めて若者たちによって未来が作られた60年代、イギリス。今なお世界に影響を与えるUKストリート・カルチャー“スウィング・ロンドン”の誕生と熱狂を、イギリスの名優マイケル・ケインがナビゲーターとなり、貴重なアーカイブ映像と音楽満載で描くドキュメンタリー映画。



©Raymi Hero Productions 2017

葡萄畑に帰ろう

3.23(土)~3.29(金)

2017年|ジョージア|カラー|ビスタ|1h39|DCP

監督:エルダル・シェンゲラヤ

出演:ニカ・タヴァセ、ニネリ・チャンクヴェタゼ、ケティ・アサティアニ、ナタリア・ジュグリ

ジョージア映画界の最長老の監督が85歳にして21年ぶりに贈る人生賛歌。故郷に残した母のことはすっかり忘れ、政府の要職で大臣の椅子の座り心地を満喫しているギオルギ。地位と権力を手に入れ順風満帆に暮らしていたが、権力争いの中で失墜。故郷の葡萄畑でジョージア人らしい生活と精神を取り戻し、家族を再生させようとする物語。



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県 川崎市 麻生区万福寺6-7-1

Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/

小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

チケットは当日9:00より受付にて販売します。(自由席/整理番号順入場)

◆各種割引《お一人様1000円!》

●木曜日はメンズデー ●金曜日はレディースデー ●夫婦50割

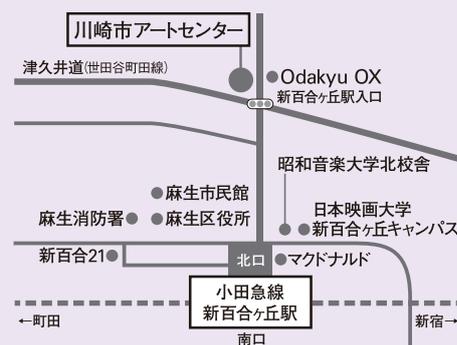
◆アルテリオ・シネマ会員募集中! いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

●入会金500円 ●年会費1000円(1年更新制)

●ポイント5つで招待券1枚プレゼント!

●同伴者割引:1名様まで、一般料金1800円~1300円の作品は一律1200円に割引!

ご入会手続きは受付でのみ承っております。



毎月 第三火曜日のお楽しみ 2019 **ラゾーナ寄席**

第81回

2019年

3月19日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

- 会場…ラゾーナ川崎プラザソル
〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
- 出演…三遊亭圓雀・桂米多朗・春風亭昇吾・昔昔亭全太郎
- 入場料…全席自由2,000円・25歳以下1,000円
(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)
- 予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル
電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151
E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭圓雀

「楊貴妃」観世恭秀
撮影：前島吉裕

第116回 川崎市定期能

能と狂言

平成31年3月16日(土) 会場：川崎能楽堂
入場料：各部 4,000円(全席指定)

U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方、購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

第一部
12時30分開場
13時00分開演

能
楊貴妃
観世恭秀(観世流)

狂言
柿山伏
山本泰太郎(大蔵流)

能
胡蝶
田邊哲久(観世流)
岡本房雄(観世流)

狂言
清水
山本則孝(大蔵流)

第二部
15時30分開演
15時00分開場



「胡蝶」田邊竹生
撮影：前島吉裕

チケット発売日

平成31年2月6日(水) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順)
*残券があれば、同日正午より電話・川崎市文化財団ホームページでも販売いたします。

チケット取扱・お問合わせ

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00
*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。
川崎市文化財団ホームページ <http://www.kbz.or.jp/event/noh/20190316/>
*ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。



beyond 2020

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647
*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階
TEL.044(272)7366 FAX.044(544)9647 <http://www.kbz.or.jp>
平成31年3月1日発行

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

川崎市文化財団

検索

●印刷・製本／八幡印刷刷 TEL.044-542-2311